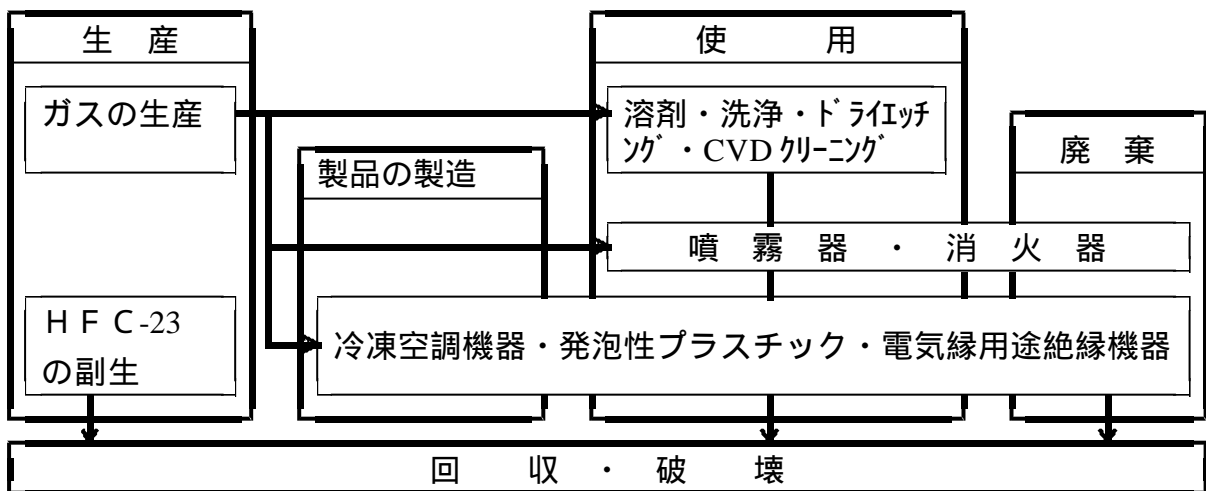


HFC等3ガス分科会報告書の要旨

1. はじめに

HFC等3ガスについては、従来、インベントリにおいて潜在排出量として締約国会合事務局へ提出してきた経緯があるが、排出係数の制定後には、実排出量として報告を行う予定である。

2. HFC等3ガスの排出特性



3. 施行令に基づくHFC等3ガスの排出の算定に係る留意事項

- ・排出の算定対象となる物質はHFC、PFCおよびSF6の3種類のガスであり、施行令では13種類のHFC、および7種類のPFCが対象となっている。(SF6は一種類)
- ・排出の算定は、原則として活動量に排出係数を乗じて算定するが、その後、回収・処理された量を差し引く場合や、排出係数を設定せずに排出量を適切な方法により算定する場合がある。
- ・一般に排出係数は、単位ガス量当たりの同じガスの排出量とするため、単位は無しとする。ただし、例外として下記のケースに留意する。

HCFC 22の生産時に副生するHFC 23の排出係数の単位は、[kgHFC 23 / kgHCFC 22]である。

冷媒および発泡用途における製品の使用時の排出係数は、使用年数1年当たりとして[/年]としている。

自動車エアコンディショナーのみ活動量を台数ベースとし、使用・廃棄時の排出係数は1台当たりの排出量[kg / 台] (ただし使用時は[kg / 台 / 年]) としている。